

新型コロナウイルス感染予防ガイドライン

～第35回 OHK 杯瀬戸内国際交流新体操大会・東急杯新体操大会2023～

○大会中の具体的な感染防止対策

(1) 基本的な感染症対策

ア、競技会場において、検温、手洗いや咳エチケットなどの基本的な感染症対策を徹底する。

➡来場者は極力マスクを着用する

イ、会場出入口に準備している消毒薬や、トイレの石鹸を使用し、適宜手洗いや消毒をする。

ウ、密閉空間を避けるため、競技場内の対角にある扉を開放しておく。

エ、密集場所を避ける。

オ、応援は拍手のみで行なう。

カ、引率者は、大会前に選手の健康状況（検温状況含む）を確認し、体調不良の選手がいた場合には、決められた対応をする。

キ、各チームの責任者は、来場者の名簿を作成し提出する。

➡会場内への出入りは、各団体が提出する入館者名簿に記載されている人のみとする。

➡原則、大会出場後は速やかに退館する。但し、諸々の事情により観覧を余儀なくされる場合は、滞留を許可する。その際、所定の間隔を守ること。

ク、バスや公共交通機関を使用して移動する際は、極力マスクを着用するとともに、可能な限り換気に努めること。

ケ、大会に参加した者の中に感染者が出た場合には、その他の参加者に対して連絡をとり、症状の確認、場合によっては保健所などの公的機関に連絡がとれる体制を確保する。

コ、大会に参加した個人は保健所などの聞き取りに協力し、また濃厚接触者となった場合には、保健所からの指示に従う。

(2) 選手に発熱等の風邪の症状がみられる場合の対応

ア、発熱等の症状がみられる場合、大会出場を認めない。

(各所属団体に指示しておくこと。)

イ、当日、急に症状が出た場合は、保護者及び各所属団体の代表者に連絡する。

ウ、引率者は、体調不良の選手が出た場合、健康状況について大会事務局に報告する。

エ、引率者は、他の選手等の健康観察を徹底する。

※ その後、コロナウイルスに感染したことが確認された場合は各所属団体や行政機関の指示に従い、その経過等については、事務局に報告すること。(インフルエンザに感染した場合も病院での指示に従う。)